

給食費 すえおき

安全でおいしい学校給食を

「子どもの大事な給食。消費増税に負けない」

消費税8%増税、物価高騰、公共料金の値上げの結果、小中学校の学校給食に対する保護者負担（給食費）が全国的に引き上げられています。

しかし、流山市では、1997年度の料金改定以降、値上げせず、今年度も給食費を据え置きました。

調理現場では、きめ細かなルール（裏面）のもとでも、米飯給食の回数を増やしたり、ジャムなど手作り品を増やしたり、果物の切り方を工夫したりと大奮闘です。また、議会で提案された「学校給食で使用するお米は100%市内産へ切り替える」政策が導入・定着し、給食費据え置きに一役買っています。

物価上昇(円)	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
パン(50g小麦粉)	36.23	36.19	39.06	39.45	39.41	40.74
牛乳(本)	42.67	43.60	44.19	44.72	45.67	46.49

自治体	小学校			中学校			前回の改定時期
	13年度	14年度	値上げ	13年度	14年度	値上げ	
流山	4,200	4,200	0	4,900	4,900	0	1997年に改定
松戸※	4,740	4,880	140	1食344円→357.43円			2008年に改定
柏	4,770	4,770	0	5,280	5,280	0	2009年に改定
野田	3,900	4,100	200	4,500	4,700	200	不明
我孫子	4,100	4,300	200	5,000	5,200	200	不明
鎌ヶ谷	4,270	4,270	0	4,860	4,860	0	改定なし

【上】パン・牛乳の物価変化。【下】1ヶ月の給食費 自治体比較

※松戸市では、小学校給食が低中高学年で料金設定されています。表数値は高学年比較。中学校給食はお弁当持参・米飯給食・パン給食の3種類から選択。

消費税10%計画・更なる民間委託計画を跳ね返そう

しかし、調理現場も限界ギリギリ。消費税10%では据え置きも不可能になります。くらしを守る国民的共同を広げ、増税を凍結させましょう。

また、「1円まで活かす」という井崎市長は、市直営で運営する小学校給食調理場（12校）を民間委託に切り替える計画です。市財政の負担抑制が狙いです（保護者が負担する給食費は食材実費分となっているた

め、民間委託が広がっても給食費の引き下げにはなりません）。

学校毎に調理場が設置され、しかもその一部を市が直営し、給食を提供できる環境は、歴代の行政、市民、学校が作り上げてきた宝であり、子どもや教育にとって欠かせない存在です。自校直営の学校給食を守り、発展させるためにも、一緒にがんばりましょう。



小田桐たかし

日本共産党市議会議員

児童又は生徒1人1回当たりの平均所要栄養量の基準

区分	栄養量			生徒(12歳～14歳)の場合
	児童(6歳～7歳)の場合	児童(8歳～9歳)の場合	児童(10歳～11歳)の場合	
エネルギー (kcal)	590	640	720	820
たんぱく質 (g)	22	25	29	32
脂肪 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25%～30%			
カルシウム (mg)	275	290	370	430
鉄 (mg)	3	3.2	3.5	4
ビタミンA (IU)	600	675	750	880
ビタミンB1 (mg)	0.37	0.4	0.46	0.51
ビタミンB2 (mg)	0.51	0.55	0.63	0.7
ビタミンC (mg)	22	22	25	27

(注)

1 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取量について配慮すること。

●食物繊維…児童(6歳～7歳)5.9g、児童(8歳～9歳)6.4g、児童(10歳～11歳)7.2g、生徒(12歳～14歳)8.2g

●ナトリウム(食塩)…各発達段階を通じ、食塩相当量として4g以下(これによることが困難な場合にあつては、6g以下)

2 この所要栄養量の基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、性別、年齢、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。